

## 議員研修会

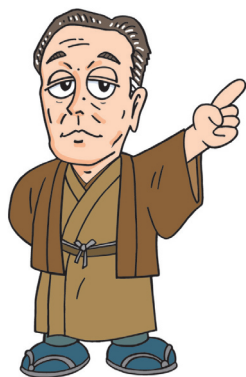
「台風・豪雨時に開設する避難所の開設基準等 及び  
新型コロナウイルス感染症に係る避難所運営について」



8月19日(水)、市議会の会派会長会の主催により、市の防災危機管理課長を講師に招き、「台風・豪雨時に開設する避難所の開設基準等」及び「新型コロナウイルス感染症に係る避難所運営」についての研修会を開催しました。

市議会では、今後も災害対策に積極的に取り組んでいきます。

## STOP!! 風評被害



全国的に、新型コロナウイルス感染症に感染した方や医療に従事した関係者、その家族に対して、周囲の方から不適切な発言や対応、また様々な風評被害により、残念なことも起こっています。新型コロナウイルスに負けることなく、みんなで励ましあい、支えあい、この苦難を乗り越えましょう!

相手の気持ち考えよう! 誹謗中傷を止める勇気、そして思いやり!

# 代表質問

毎年9月議会において、会派の代表者が具体的政策を、主に市長及び教育長に対し質問するもので、今回が12年目になります。



## 日本共産党

代表質問者 **荒木 ひろ子**

### ◎市民の命を守る市民病院の役割と市のPCR検査の考え

**問** 市民病院での新型コロナウイルス対策とPCR検査体制を県と共に強化し、検査件数増で治療の為だけではなく、陽性者を早く見つけ、感染拡大防止に役立てられる様、検査の条件の改善を。

**答** 感染患者受け入れに必要な専用の病棟、病室の確保、スタッフの編成、設備等の整備を行い、十分な医療が提供できる体制を整えております。

PCR検査は濃厚接触者や一部の接触者についても県の行政検査で対応されております。

**問** 保育所、学童保育所、介護・障がい福祉施設等でクラスター発生を防ぐために働く方々へのPCR検査の実施と、国の支給対象からはずされた保育所や学童保育で働く方への慰労金の支給を。

**答** 中津市としてのPCR検査は実施できません。

国の慰労金の支給対象となっていない保育所や放課後児童クラブ等の児童福祉施設の職員については、九州市長会を通じて、国に対し、介護職員と同等の慰労金の支給の要望を行うところです。

### ◎コロナウイルス感染拡大防止のために少人数学級の実現を

**問** コロナ禍の経験で少人数学級を求める声が広がっています。一日も早く実現し、安心して学べる環境を整える中津市の考えと準備は。

**答** 中津市独自で、すべての学年において少人数学級とすることは、教員配置や、今以上の教室の確保という観点からも難しいと考えていますが、引き続き、国や県に教員定数の改善や30人学級の推進について要望します。

**問** 一斉休校中は外出制限で体力の低下傾向、再開後の授業の進みについていけない子どもへの対応。

**答** 児童生徒の心のケアや学習の遅れの回復は、児童生徒に過度の負担をかけない様に、授業計画の組み換え、学習活動の重点化など工夫をします。

**問** 教員の長時間労働について、コロナ禍の中で益々負担が大きくなっています。負担軽減と教員を増やす努力を求めます。

**答** 全小中学校にスクールサポートスタッフを配置し、学習支援員、部活動指導員も配置しています。



[コロナ感染防止!みんなで手洗い]

### ◎「市職員による違いこみ事件」中津警察署への刑事告訴は

**問** 中津警察署への刑事告訴は、どうなりましたか。

**答** 警察の調査検討が進められましたが、起訴の証拠が足りないと告訴状は受理されませんでした。弁護士と相談し今の形での告訴は断念し、今後新たな証拠が見つけれれば再度告訴を考えます。

**問** 不正の金額、国県への税金をあてた返還額、裁判の為の経費、元市職員に支払った退職金、退職後再任用し、一年間雇用した経費はいくらですか。

**答** 元市職員への損害賠償請求額は14,808,829円、退職金19,734,213円、退職後の非常勤職員報酬1,629,153円です。また、退職金返納請求訴訟でも争います。

**問** 元市職員は領収書を偽造し不正会計をした事を認めています。国県への返還に市民の税金を使った奥塚市長、前教育長、関係職員も、市民に与えた損害を負担する責任があるのではありませんか。

**答** 第三者委員会の報告では教育委員会の指導・監督に問題があったと指摘されており、責任は教育委員会にあると認識しています。関係職員の処分と前教育長自ら退任し、管理監督責任者として責任を取ったものです。

### ◎非核平和都市宣言の実践を

**問** 2017年7月7日に国連で採択された「核兵器禁止条約」は44ヶ国が批准し、あと6ヶ国が批准すれば効力を発します。奥塚市長の思いは。

**答** 非核平和都市宣言のまち中津、平和首長会議に参加の中津市の長として、核軍縮、不拡散に向けた認識や機運が高まり、核兵器も戦争も存在しない平和な世界となることを願っています。

**問** 日本国民の72%が「日本は条約に参加すべき」と考えています。中津市の取り組みは。

**答** 核兵器禁止条約の批准は平和への手段の一つですが、国の専管事項です。平和首長会議の取り組みや市民署名活動をホームページで紹介しています。学校での平和教育などに取り組んでいます。

**問** 非核平和都市宣言の看板はもっと目立つ様に改善をし、平和首長会議のメンバーとして、もっと熱いアピールを市民や社会に発して下さい。

**答** 非核平和都市宣言の看板は中津駅南口と市営豊田町駐車場に設置しています。原爆投下と終戦記念日にサイレンの吹鳴をしています。



[核兵器も戦争もない平和な世界を]



### 新生・市民クラブ

代表質問者 おおつか まさとし **大塚 正俊**

#### ◎コロナ禍による歴史的危機を乗り越える行政組織のあり方

**問** コロナショックという未曾有の大波を生き抜くために、今、行政に求められるのは、前例にとらわれることなく、

スピーディーかつアグレッシブに対応策を打ち出していく姿勢です。

明確な答えのない課題に対して「できない理由」をあげつらうのではなく、「できる理由」を徹底的に考え、決断し、最後までやり切る力です。

慎重で、硬直的な行政のあり方から、自らの知恵やアイデアを最大限に活かしながら、変革を成し遂げ、コロナショック後の新たな時代の流れをつくることのできる組織への進化が必要であると考えますが如何ですか。

**答** 中津市新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げて以降、支援策を体系的に整理し、市民に幅広く周知してまいりました。また、施策実施に当たっては、市民や経済界など様々な声を聴き、感染予防や感染拡大防止対策の強化、地域経済の活性化策など、医療、福祉、教育、産業など各行政分野において迅速に対応してきたところです。今後、新型コロナウイルスの収束、とりわけ、ワクチンや治療薬の開発には、まだ相応の時間がかかると見込まれますので、引き続き状況をしっかりと見ながら、国・県・市が一体となり、また、市を挙げて支え合いながら、全力で新型コロナウイルスの対策に取り組んでまいります。

#### ◎災害に強いまち・災害に強い地域づくり

**問** 7月の集中豪雨や今回の台風10号における避難所の設置や運営の実態を総括すると、残念ながら中津市の災害避難対策は脆弱であると言わざるを得ません。

各校区の防災士協議会、自主防災組織との協議を行い、豪雨や地震、津波など、それぞれの災害に対して、どこの校区は、どこの避難所に避難するのか等、現実味のあるガイドラインを定め、それに沿った校区単位の避難訓練を実施すべきと考えますが如何ですか。

**答** 同じ校区内であっても災害リスクの少ない地域と多い地域、避難開始のタイミングや避難場所など災害種別により異なることから、市では、各世帯で災害種別に応じて避難するタイミングなどを記載する\*マイタイムラインの作成が有効と考えております。

避難訓練については、防災士の皆さん等のご協力を頂きながら、地域の災害リスクに沿った取り組みを進めたいと思います。



冠水した終末処理場西側道路 (7/6)

#### ◎企業の国内回帰をにらんだ企業団地の造成

**問** コロナ禍の今、日本で部品を調達して製造し、輸出するという、国内回帰の動きが始まっています。

大分県を巻き込んで、都市計画区域の工業地域、準工業地域、三光ICをはじめとした中津日田道路のIC周辺の企業団地の造成を実施すべきと考えますが如何ですか。

**答** 中津日田地域高規格道路へアクセスが容易なインターチェンジ周辺は、企業にとって魅力ある場所と考えております。これらは中津市都市計画マスタープランで「企業の立地を考慮した土地利用を検討するエリア」としており、新たな企業向け用地の候補地として有望であると考えております。

今後も、これらの候補地や市が所有する用地も含め、企業ニーズを踏まえつつ、用地の造成を検討していきたいと考えております。



[中津日田道路三光IC]

#### ◎コロナ危機をチャンスに転じる1歩

**問** コロナ危機が多くの企業や人々に、現在のビジネスのあり方や働き方、そして現在の住まい方で果たして良いのか、再考を促すきっかけとなったことは確かです。すでに、多くの企業で在宅勤務が実施され、その恒久化も検討されています。若い起業家の中には、すでに拠点を東京から地方に移す動きも出てきています。

そこで、サテライトオフィスやテレワークの推進にあたって、オフィスや通信インフラの無償提供や補助金等の市独自の支援策が必要と考えますが如何ですか。

**答** 企業誘致にあたって、情報サービス業、インターネット附属サービス業などのITを活用した業種であれば、『中津市企業立地促進助成金』の対象企業であり、新規雇用者や賃借料に対する助成が受けられます。

また、中心市街地商店街の空き店舗を活用したオフィスであれば、『商店街空き店舗活用事業補助金』の対象となり、改装費などの初期費用の助成が受けられます。

その他、ソフト分野については、業種の幅が広いので、必要に応じて制度の見直しも考えてまいります。



[テレワークが可能な coworking スペースを備えた「秘密基地中津 (日ノ出町商店街)」]

#### 語句の説明

\*マイタイムラインとは、台風等の風水害に備えて、住民一人ひとりが、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、取りまとめるもの。

# 9月議会 一般質問

- ◆令和2年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



さがら たかのり  
**相良 卓紀**  
(清流会)



- ・災害から市民の命を守る危機管理について
- ・アフターコロナへの取り組み  
コロナ禍後の社会変化に対応したまちづくりについて

**問** 今年4月から運用開始した旧下毛地域の防災監視カメラの映像配信の地域住民への周知方法、および積雪時等の映像配信の考えは。

**答** 監視カメラ映像配信については問合せが多くあり、周知不足があったと認識しています。今後ケーブルテレビやチラシの配布等でも周知を図りたいと思います。積雪時等の配信についても実施したいと考えています。

**問** 7月豪雨時の小中学校の臨時休校措置の対応は。

**答** 校長会の代表と教育委員会とで協議し、臨時休校等の措置を取りました。今回の事については校長先生方から改善が必要ではとの声もあり、今後は状況を深く把握した上で判断したいと思います。

**問** コロナ禍後の社会変化に対応したまちづくりの考え方は。

**答** 急速に進むと考えられるデジタル化への取り組みなど、コロナ後の社会変化に対応しつつ市民の暮らしを守ることを第一に取り組んでまいります。



かわうち やちよ  
**川内 八千代**  
(日本共産党)



- ・コロナ禍の下で市民生活を守る市政を。全市民に給付金を家賃補助、事業継続支援金の税金完納条件は緩和して
- ・横領事件について市長の責任

**問** コロナで影響を受けている市民にせめて1人1万円の給付金を市独自で。他市町では実施してます。

**答** 個人向けの支援については、各種給付金や、市税や使用料等の猶予や減免等、必要な支援が必要な方に行き届くよう取り組んでいます。

**問** 家賃補助、事業継続給付金は税金完納の条件があるが、コロナで厳しい経営を乗り切るための支援なら税金完納条件を緩和し、支援の強化を。

**答** 支援制度の主な財源は税であることから、納税の公平性を確保するため、補助金の交付に市税の完納を条件としました。

**問** 市職員による横領事件では4千万円超の税金がかかり前教育長の退任ですまされない。部下のおこしたことに最高責任者の市長が責任をとるべき。

**答** 今回の不法行為は元市職員が行ったものであり、市に損害を与えたのは元市職員です。市としては取り得る手段はすべて取って、市に損害が出ないように、全力で取り組んでいるところです。



みかみ ひでのり  
**三上 英範**  
(日本共産党)



- ・林業に公的な支援の拡大を
- ・度重なる被災農地等の対応は
- ・中山間地域の水路維持管理
- ・市民が主人公の市政へ転換を
- ・補助金不正受給事件の顛末

**問** 市林業が循環・維持していくための支援策は。

**答** 林業関係者との情報交換を行い、間伐や再造林の補助率嵩上げなどの支援に取り組んでいます。

**問** 一昨年被災、昨年復旧工事が完成し、今年7月また、被災した農地の負担金は減免すべきでは。

**答** 中津市農地等災害復旧事業分担金条例に基づき被災した回数や頻度にかかわらず、一定の負担をお願いしています。

**問** コメ60kg当たりの生産原価と販売価格の認識は。水田の意義、特に中山間地域での意義は。稲作を支える水路は、公共的な役割を担っているなのでその維持管理には行政の支援が必要では。

**答** 平成30年産の販売価格は、60kg当たり15,688円、生産原価は20,144円です。水田は米の生産にとどまらず、国土の保全、水源の涵養、環境の保全等の役割を果たしています。農地や農業用施設が被災した場合は、災害復旧事業や小災害補助金で対応いたします。



すが かなこ  
**須賀 要子**  
(新生・市民クラブ)



- ・持続可能な農業について
- ・7月豪雨から学ぶ防災対策
- ・ひとり親家庭への支援について

**問** 農作業受委託の申し込みをしなかった159件(265件中)の農地の今後の対応は。

**答** 市全体の農作業受託の調整を進めていきます。

**問** 農業散布の情報提供や、農業使用量の規定厳守について、市としての考えと対策は。

**答** 地域住民へ情報提供等の周知徹底を指導します。

**問** 7月豪雨による市内の道路冠水への対策は。

**答** 調査中で来年より計画的に実施していきます。

**問** 養育費は「子どもの権利」です。しかし受取は2割程度という不払い問題により母子家庭や子どもの貧困が起きています。解消に向けて養育費の取決め公正証書作成のサポート制度の導入は。

**答** 国が養育費確保に向けて関連法の改正や法整備等の検討を行っています。今後、国の状況を注視しながら、引き続きひとり親家庭が安定自立した生活を送ることができるよう、色々な機会を通じて相談にしっかり対応してまいります。



お ずみ とし こ  
**小住 利子**  
(公明党)



- ・「いのちを守る」がん対策の推進について
- ・人と動物の共生について
- ・こころの健康づくりについて
- ・暗所視支援眼鏡について

**問** メンタルヘルスチェックとしての「こころの体温計」のシステム導入に対する考えは。

**答** 「こころの体温計」は、大学の付属病院で実際にメンタルヘルスの判定に使用されているものを携帯アプリ等として開発したもので、パソコンやスマホを使い、簡単な質問に答えることによって心のストレスや落ち込み度をチェックするというもので、最後に相談機関も表示され、便利なツールの一つだと認識しています。県下で、導入している自治体の評価もお聞きし、効果的に施策に取り組めるかどうか研究していきたいと思ひます。

**問** 暗所視支援眼鏡のその後の取り組みは。

**答** 夜盲症の方がたのために開発されたもので、低照度高感度カメラで捉えた像を、メガネ型端末のディスプレイに投影する\*ウェアラブルデバイスです。これを装着する事により、一人でも夜間の外出が可能になります。8月に要綱改正を行い、日常生活用具の給付品目に加えたところです。



よし むら なお ひさ  
**吉村 尚久**  
(新生・市民クラブ)



- ・「コミュニケーション条例」の具現化に向けて
- ・教員の「概ね10年3地域」の異動ルール見直しを求めて
- ・部活動の諸課題解決に向けて

**問** 学校や企業、地域において手話や点字の普及にどう取り組んでいるのか。

**答** 小学校では「わいわい福祉ひろば」などで手話や点字を学んでいます。また、市民向けの手話講習会に加え、今年度は希望する企業や地域向けに手話勉強会を事業化しました。点字については、点字絵本を小学校などに寄贈する団体に助成を行いました。

**問** 安全確保のため中体連の大会に看護師配置を。

**答** 生徒の健康を考えると看護師の配置は必要だと思ひますので、できるだけ支援していきたいと思ひます。

**問** 活動に危険を感じる体育館にエアコン設置を。

**答** 一部の学校の体育館は、災害時の一時避難所としても利用されており、避難者の安全面等にも配慮が必要であると考えていますが、財政状況、効率性、経費や維持管理費など総合的に考える必要があると思ひています。



おお うち なお き  
**大内 直樹**  
(清流会)



- ・若者が育ち、戻ってくる街へスケートボード施設について
- ・\*eスポーツについて
- ・出会いの場の創出へ
- ・消防団の活動推進のために

**問** スケートボードができる場所を確保できないでしょうか。

**答** 他の利用者に対して安全であることや騒音などで迷惑がかからない場所がないか、今後調査し、スケートボードが優先して利用できるエリアの確保が可能かどうかを考えていきたいと思ひます。

**問** eスポーツについて。

**答** eスポーツの展開には注視しつつ、今後もスポーツがもたらす効果を受けられるような環境作りに力を入れていきたいと考えております。

**問** 河川の洪水浸水想定区域にかかる消防団詰所には河川状況を把握する為のケーブルテレビが配置されるべきだと考えますがいかがでしょうか。

**答** 情報収集の手段の一つとして消防団詰所にケーブルテレビを設置することは、各分団それぞれの考え方もあると思ひますし、これによって得られる消防活動上の効果などの検証もしなければなりません。



つね が しん た ろう  
**恒賀 慎太郎**  
(創生なかつ)



- ・大雨時の冠水対策について
- ・ごみ焼却炉建替え問題について

**問** 旧市内において7月の豪雨で中央町、宮永の一部において床下浸水が発生しました。インフラ整備をどうすすめるか、お聞きします。

**答** 本年度の調査の中で、中央町を中心とした地域における浸水シミュレーションの策定も行っています。本業務におけるシミュレーションの結果を基に、必要断面の再検討や整備計画を行い、計画的に実施していくように考えています。

**問** ごみ処理費が毎年、10億円程かかっているが、一般廃棄物埋立処分場の延命策は。また、処分場利用残余年数の見込みは。

**答** 埋立処分場を嵩上げて埋立容量を増やした事や、ごみ処理により出た残渣等を埋立てずにセメント資源化して埋立処分場の延命をしています。このセメント資源化を継続することで、令和31年度まで埋立処分場を延命できる予定です。

語句の説明

\*ウェアラブルデバイスとは、身体の一部に装着するコンピュータのこと。

\*eスポーツとは、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。



みえの たまえ  
**三重野 玉江**  
(清流会)



- ・移住・定住促進について
- ・ムクドリ対策について
- ・教育行政について

**問** 中殿町のムクドリ被害の現状と今後の対策は。

**答** 電線に約2千羽が集まり、鳴き声による騒音被害とフンの被害が発生していることを確認しています。試験的に行った取り組みで3分の1以下に減らすことができましたが、市街地から完全に追い払うのは難しい状況です。今後は、一定程度の数のムクドリとの共生をご理解頂き、その上で受容限度を超える集団化へ対処したいと考えています。

**問** 小中学校のICT環境の整備状況は。

**答** 1人1台のタブレット端末は、県の共同調達入札で落札、契約を終えています。令和3年1月末までに各学校に搬入予定です。児童生徒には学校再開以降、すべての学校でタブレット端末を使って学習支援ソフトで学習する時間を増やし、家庭で1人でも操作できる力をつけるよう取り組んでいます。



はやし ひであき  
**林 秀明**  
(前 進)



- ・小祝を祝島にしましろう
- ・福澤先生一万円札ありがとう
- ・角木ポンプ場整備と堤防撤去
- ・地元業者が活躍できる入札
- ・第一次産業の連携働き方改革

**問** 山国川の渡架橋計画もあり水産観光の整備を。

**答** 観光商工振興など多角的視点の検討が必要です。

**問** 大型トラックに福澤諭吉先生の肖像や一万円札や名言をラッピングし、全国を走る観光PR計画を。

**答** ワクワクする計画です。肖像が変わろうとも、福澤先生の功績は変わりません。残る4年間はあらゆる角度から、先生の顕彰をススメます。

**問** 新雨水ポンプ場計画と宮永角木線整備における閘無漁港の堤防撤去及び跡地利用の考えは。

**答** 基本設計の中で、年次計画や必要とする能力等を検討します。閘無漁港の堤防は撤去に向け調整中で、跡地利用は多目的広場等を想定しています。

**問** 市内本店事業者向け、市場の形成について。

**答** 競争性や公正性等入札制度の目的を確保しつつ、市内本店事業者の優先発注に努めます。

**問** 農林水産業のみなさんはよく働きます。人手不足の時、お互い連携し所得の増加を図れないか。

**答** 協力は大切で、各分野の方の意見を聞きます。



ほんだ てつや  
**本田 哲也**  
(ゆうき)



- ・「サイクリングで中津のまちづくり」について
- ・「市有の公共建築物の維持更新」について
- ・市報で一次産業の活性化

**問** 城下町、サイクリングロード沿線等でのイベント開催、学校行事での活用、及び施設の充実は。

**答** 中津駅にも\*クロスバイクを設置（予定）し、山国までの施設間連携等により利便性を高めます。イベントは地域観光への波及効果が見込めれば開催し、学校行事での活用も促します。

**問** 築30年以上経過する市有建築物の状況、改修・更新時の市産木材の利用促進、及び森林環境譲与税の活用は。

**答** 令和3年度から5年間の改修・更新費用の試算は約113億9千万円です。基本方針に従って、可能な限り市産材を活用し木造化・木質化を図ります。その際、森林環境譲与税の活用も可能です。

**問** 季節の農林水産物紹介記事のシリーズ化など、情報発信の強化による地産地消の推進は。

**答** 今後も、農林水産物のPRや消費拡大を図るため、市報を活用した連載や特集記事も視野に入れ、より新鮮で魅力ある情報の発信に努めます。



きのした もとのぶ  
**木ノ下 素信**  
(清流会)



- ・コロナ禍での図書館の役割
- ・地元要望による市道・農道の舗装

**問** コロナ禍の今こそ、図書館に行かなくても利用できる電子書籍を導入してはどうですか。

**答** 図書館が遠い中山間地域や、移動図書館車も運行していない地域など、導入の判断には地域的要素もあるため、中津市のニーズに合うのか、メリット、デメリットや導入後の課題など、さらなる研究が必要と考えています。

**問** 地域での活動に欠かせない社会基盤の一つである道路の整備要望に対する整備評価判定基準はありますか。

**答** 未舗装の市道・農道の舗装については明確な整備基準はありません。地元からの要望書を受け、道路の利用状況や安全性等により、必要と判断されたものについて舗装を行っています。

語句の説明

\*クロスバイクとは、ロードバイクの特性とマウンテンバイクの特性をあわせ持った自転車のこと。

## 自由討議

### ◆withコロナの時代、議会として出来ることは

- ①議会だよりを活用した「誇中傷をなくして、人に優しい地域づくり」のメッセージの発信
  - ②各常任委員会において議会として出来ることについての協議の実施（自由討議や協議会等）
- （補足説明者：古江 信一 議員）



### ◆水産物の流通対策について

- ①水産物消費量を増やすには
  - ②水産物流通システムの構築には
- （補足説明者：本田 哲也 議員）



以上2件について自由討議が行われました。

### ★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。  
ライブ配信（生中継）と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市 議会中継



生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します



【QRコード】

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

### 令和2年12月議会の予定

12月	1日(火)	本会議「開会・会期・議案上程」
	8日(火)	本会議「一般質問」(4日間)
	9日(水)	
	10日(木)	
	11日(金)	
	15日(火)	本会議「議案質疑」
	16日(水)	教育産業建設委員会
	17日(木)	常任委員会 厚生環境委員会
	18日(金)	総務企画消防委員会
	22日(火)	本会議「自由討議」
24日(木)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」	

## 虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

●お中元 ●初盆等のお供え ●暑中見舞い状

●お祭りへの寄附 ●お歳暮 ●年賀状 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

### 語句の説明

\*ニューツーリズムとは、従来型の観光旅行ではなく、テーマ性の強い体験型の新しいタイプの旅行とその旅行システム全般を指す。



まつば たみお  
**松葉 民雄**  
(公明党)



- ・在宅就労支援事業について
- ・観光対策について
- ・熱中症対策について
- ・コロナ感染症対策について
- ・地域環境美化活動について

**問** 自宅で行うインターネット環境がない方々に対して、Wi-Fi環境の整備など、在宅就労障がい者支援制度の活用とその環境整備に助成する考えはありませんか。

**答** 在宅就業障がい者支援制度につきましては、ひきこもり状態の障がい者に、社会に出る一般的な就業支援の前のステップとして有効な制度であると思います。ただし、現在、取り組みをする事業所等がない状況ですので、市内に事業所ができた時点での検討課題になると思います。

**問** 日本遺産認定後の今後の取り組みについて、市の考えをお伺いします。

**答** 日本遺産としての土台作りを固めてきた期間を経て、これからいろんな場面において改めてその日本遺産であることの重要性を強調して\*ニューツーリズムとして観光戦略を打っていき、取り組んできた観光客へのPRや誘客の中に重要な位置づけとして、日本遺産を織り込んでいきたいと思っています。



くさの しゅういち  
**草野 修一**  
(前 進)



- ・「中津日田高規格道路」の整備と地域振興について
- ・「農業公社やまくに」と中津市の農業振興について

**問** 「中津日田道路」供用開始後の周辺地域の活性化について、市はどのような方針でいるのか。

**答** インターから引き込む魅力づくりが必要、山国の猿飛千壺峡を観光の目玉として整備、212号沿線の観光を繋ぎ、食、遊び、体験と合わせ「耶馬溪観光」の周遊コースを確立させます。消費地が間近に出来ることから地域産業の振興を図ります。また、生活環境が大きく改善されることから移住・定住対策に力を入れていきます。

**問** 「農業公社やまくに」などについて市の農業振興の中でどのような方針でいるのか。

**答** 農業公社やまくには、これまでの取り組みの拡充を図り、今後は中津市全域での農業振興の中心的組織として事業拡大に向け、体制整備を進めます。(株)農業生産法人やまくには、農産物の生産、販売事業を中心に取り組み、米のブランド化を図りつつ、新規作物の栽培など、所得向上に向けた取り組みを進めます。

## 9月議会で決まった内容

令和2年9月議会は、9月1日から9月30日までの30日間にわたり開催されました。内容としては条例関係議案11件、予算関係議案9件、その他の議案4件、計24件を可決し、人事案件1件を同意しました。また、請願1件を不採択とし、意見書3件のうち2件を原案通り決定、1件を否決しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。) なお、決算議案12件は閉会中の継続審査としました。

### 条 例

- ◆中津市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について
- ◆中津市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- ◆中津市税条例の一部改正について
- ◆中津市都市計画税条例の一部改正について
- ◆中津市督促手数料及び延滞金条例等の一部改正について
- ◆中津市企業立地促進条例の一部改正について

- ◆中津市執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆中津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- ◆中津市手数料条例の一部改正について

### 補 正 予 算

- ◆令和2年度中津市一般会計補正予算(第5号)  
\*主に、令和2年7月豪雨により被災した農地、河川、林道、市道等の本格的な復旧費の予算措置や、企業誘致の推進について新たな工業用地を早期に確保するため、大新田北工業団地の市道整備を大分県土地開発公社に委託する経費を計上。
- ◆令和2年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和2年度中津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

- ◆令和2年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和2年度中津市小規模集合排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和2年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和2年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和2年度中津市病院事業会計補正予算(第1号)
- ◆令和2年度中津市診療所事業会計補正予算(第1号)

### 報 告

- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について
- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について
- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)  
\*2件
- ◆債権放棄の報告について

### そ の 他

- ◆和解及び損害賠償の額を定めることについて
- ◆財産の取得について
- ◆公有水面の埋立てについて
- ◆工事請負契約の締結について(中清環第1号 中津市クリーンプラザ基幹的設備改良工事)

### 意見書

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- ◆PCR検査等の拡充を求める意見書

以上2件の意見書は原案通り決定し、関係機関へ提出しました。

- ◆種苗法改正案について慎重な審議を求める意見書

以上1件の意見書は否決されました。

### 人 事

- ◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

工 家 恵美子 氏 (55歳) (大字加来)

※( )内の年齢は議案提出時の年齢

### 請 願

- ◆耶馬溪町大野水路整備に関する請願書

以上1件の請願は不採択としました。